

平成28年10月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年10月27日(木)

開 會 午後 1 時 3 0 分

閉 会 午後 3時00分

2. 会 場 茅野市役所 705会議室

3. 出席委員 教育長 山田 利幸

同職務代理者 矢崎 靖雄

教育委員 小林 智

教育委員 小林 俊恵

教育委員 小平 光子

出席者 生涯学習部長 木川 亮一

こども部長 牛山 洋治

学校教育課長 平出 信次

文化財課長 守矢 昌文

スポーツ健康課長 鋤柄 敏

幼児教育課長 牛山津人志

こども課長 両角 勝元

生涯学習課長 小島 吉彦

教育総務係長 渡辺 雄一

生涯学習係長 上原 平二

こども係長 今井 明彦

教育総務主事 丸茂 直樹

4. 傍聴者 1 名

10月定例教育委員会次第

日 時 平成28年10月27日(木) 午後1時30分から

場 所 市役所 705会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

(1) 学校教育課

(2) こども課

(3) 幼児教育課

(4) 生涯学習課

(5) 公民館

(6) 文化財課

(7) スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

(1) 生涯学習課

(2) スポーツ健康課

4 議 案

今回はありません。

5 検討事項

(1) 副学籍制度について

6 その他

(1) 市議会9月定例会議決結果について

(2) 公共施設総合管理計画素案について

(3) 中学校台湾交流事業について

(4) 第17回尖石縄文文化賞について

次回定例教育委員会日程について

11月25日(金) 午後1時30分「704会議室」

(事務局会議 11月15日(火) 午前9時00分「704会議室」)

7 閉会

教育長

只今から、10月定例教育委員会を開催します。

前月の9月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは、報告第1号教育長報告をさせていただきます。

6日に高齢者大学の卒業式へ参加してきました。高齢者大学ということで、もっとお年寄りをイメージしていましたが、実際には私とそんなに変わらない年のピシッとした方がほとんどでした。私たちは、何かを得るために学びますが、高齢者大学の方は学ぶことが楽しくて仕方ないといった印象でした。

8日には泉野まわり舞台の方へ参加してきました。今国の方で学校が主体となって地域創生という事を言われています。泉野小学校ではそれが実践されていてすごいと感じました。

13日には小学校の教育課程があり、豊平、永明、宮川小学校へ参加してきました。いずれも豊かな学びあいを基本とした授業を行っておりました。

14日には市町村教委研修総会・都市教育長会が飯山で行われました。教育委員の方々にも参加していただきましたが、いろいろな見方ができると思いますが、どの市町村も、自分たちの自治体の特色をいかに生かすか、というところに力を入れているということが伝わってきました。

17日にはタイの高校生が表敬訪問に来ました。まったく日本に対して、違和感がなく、堂々としておりました。日本の中学生にはそういった面が欠けていると感じました。

19日に山浦の方言CDと本の寄贈がありました。各学校に1セットずつ配布しております。方言かるたを読んだことがあります。どこで区切って読めばいいか分かりませんでした。豊平の言葉と金沢の言葉は同じ茅野市ですが、全く違う言葉で分かりませんでした。このCDを聞けば、分かるようになるかと思います。

21日、22日には小中一貫教育全国サミットということで、武蔵村山へ行ってきました。施設分離型の学校を主に見させていただきました。武蔵村山市は、何年かけて今年、小中一貫教育をスタートさせました。こども達はとても穏やかで、効果があるようにも思いましたが、やはり、寝ている生徒、児童もいました。茅野市が行っている豊かな学びあいの授業と違い、授業中の説明が多くなってしまい寝ている生徒がいたように思いました。先生達がこどもに接する態度は柔らかく、私たちも見習わなければいけないと思いました。

25日には教育委員の方の豊かな学びの研修会を行いました。東部中学校、泉野小学校へ行ってまいりました。東部中学校の朝読書は非常に素晴らしかったです。授業の方はそれぞれ課題はありますが、担当の先生が一生懸命行っていました。

その他については資料の通りになります。

教育長

次に報告2号各課から報告をお願いします。

[各課から11月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

次に検討事項1「副学籍制度について」ということで学校教育課長をお願いします。

学校教育課長

[概要]

副学籍とは、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進する観点から、特別支援学校に在籍する児童生徒が居住地の小中学校の児童生徒と一緒に学ぶ機会の拡大を図る等交流及び共同学習を進めるとともに、特別支援学校の児童生徒に対する必要な教育的支援を享受内の学校においても行うための仕組みです。副学籍の取組でめざすものは特別支援学校と居住地の小中学校の児童生徒のが共に学び、共に育つことができる体制作りを進め、仲間意識を大切に育てます。実施期間は平成29年4月1日からを予定しています。諏訪地方では、すでに、岡谷市、諏訪市、富士見町、原村で実施されています。

教育長

次にその他1「市議会9月定例会議決結果について」こども部長からお願いします

こども部長

こども部からは議案56号「茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」ということで、学童クラブ指導員の資格のなかに、義務教育学校教員資格を加えるといった内容のもので可決となりました。議案5

6号、72号については、「教育委員の任命」、「教育長の任命」となっており、両方同意を得ることが出来ました。以上になります。

教育長

次にその他2「公共施設総合管理計画素案について」こども部長からお願いします。

こども部長

【概要】

茅野市では公共施設総合管理計画における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針について、パブリックコメントを実施しております。今後公共施設総合管理計画を基に保育園総合管理計画、小中学校中長期策定計画を作っていかなければいけない状況です。教育委員へは公共施設総合管理計画の簡単な概要の方を説明させていただきます。こちらの議案については、議会の全協の方で説明させていただいております。計画の公共施設とは、学校、公民館、道路、公園等のことを指しております。計画期間は平成29年から平成28年までの20年間で、10年後の見直しが必要と考えられています。基本的な考え方は安全・安心の確保が第一になります。ここでは日常点検の取組について書かれています。資料の通り、点検方法と対策を行います。長寿命化の推進ということで、具体的な推進方法における今後の基本方針は、「将来的な施設配置等を踏まえた建築物の長期使用への転換」。コンクリート強度や構造体の耐久性が確保されている限り、改築よりも工事費が安価で廃棄物が少ないリノベーションを優先し長期使用するものとします。また「計画的な予防保全の実施」ということで、建築専門職員の視点での全庁的一元的な評価へ転換し、築後の経過年数や部材等の状況を確認した上で、雨水の進入等による鉄筋の腐食やコンクリートの中性化を予防するため、優先順位をつけ計画的に改修等を行います。「更新時期の新年度間調整」ということで、施設更新の優先順位付けを行うとともに、年度間における改修時期の調整を行い、費用負担の平準化を図ります。施設総量の縮減を行います。市民アンケートの結果では、公共施設全体としては、縮小はやむを得ないと考えられる回答が多く占めており、施設総量の縮減に対して、一定の理解が得られるものと解釈しています。そうした中で、施設の新規整備は原則行わないことや、既存施設を更新する場合には複合施設とすること、統廃合することを検討し、施設総量の縮減を図ります。施設総量を縮減する主な手法としては、同じ機能をもつ複数の施設を統合する集約化、別々の機能を持つ複数施設を一つの施設に統合する複合化、1つの施設について複数の機能を持たせる多機能化、などがあります。施設量縮減の主な手法のイメージは資料の通りです。

矢崎委員

以前に、永明小中学校の建て替えは、一体化、隣接型は考えていないという話を聞きましたが、小中学校の建て替えは現在、実際はどのようなになっているのでしょうか。

こども部長

現在は、まだ方針は出ておりません。小中一貫教育をしている関係もありますが、義務教育学校ではありませんので、地域の方と話し合う中で、決めていくと思います。同時期に建てるのか、別々の時期に建てるのか、それとも一体型で建てるという考え方もあるかと思っています。

教育長

次にその他 3 「中学校台湾交流について」ということで教育総務係長お願いします。

教育総務係長

〔概要〕

今年度も各中学校 6 名の生徒を募集し合計 24 名で 10 月 30 日から 11 月 2 日の 4 日間、台湾へ行き交流を行います。今年度は茅野高等学校校長、同窓会長、同窓会顧問、茅野高等学校地域と歩み発展させる会理事の 4 名の方も参加されます。この 4 名の方については、経費は実費での参加となります。日程については、資料の通りになります。

資料説明（その他 3）

教育長

次にその他 4 「第 17 回尖石縄文文化賞について」ということで文化財課長お願いします。

文化財課長

〔概要〕

第 17 回尖石縄文文化賞について説明させていただきます。日にちは 11 月 3 日（木）に行われます。場所は尖石縄文考古館ガイダンスルームです。受賞者は大竹幸恵さん、受賞の理由としましては、長野県の鷹山遺跡の調査を手掛け、2004 年には「長和町立星くずの里たかやま黒曜石体験ミュージアム」を開館、それら研究成果の公表等が評価され受賞となります。

教育長

承知いたしました。質問等ございませんか。

本日予定されていた議事について、終了いたしました。なにか質問、連絡等ございませんか。

小林（智）委員

前回も質問させていただきましたが、小中一貫に関わる小中学校の行事の統一の件ですが、教育委員会として、秋に運動会を行うことが決定事項なのかそうでないのか、ということをお聞きしたいと思います。

学校教育課長

地域あつての運動会だと思いますので、話し合ってもらいたいというところがあります。同じ時期に行うことによって、他の学校との関わり合いもあるだろうということからできれば統一も検討していただきたいというところです。地域の特色ということもありますので、地域の行事と重なるということもありますので、地域の方が話しあっていて、決めていただけたらと思います。

教育長

最終的には校長先生の判断になると思います。技術的な面で秋に合わせてくれないかというような話はすると思いますが、最終的には校長先生の判断で決めていただきたいと思います。その判断もPTA、地域の方と話し合っていていただき、お互いが納得するような形で決めていただけたらと思います。

小林（智）委員

校長先生と話をしたりしましたが、市の方から「一緒に行うことがなぜ良いのか」といった説明を受けてないという話を聞きました。一緒にやることが好ましいというだけなので、明確な理由が見えてないので、校長先生も困っている様子でした。

小平委員

豊平小学校も以前は秋に行っていましたが、最近では春に運動会を開いています。わざわざ春に移した理由があると思いますので、そこらへんの理由、気持ちも考えた上で、市の方もフォローしていくということが大切だと思います。

こども部長

いきなり、秋に統一するのではなく、どうしても秋に移さなければいけない問題があれば検討して秋に移すというような形でもいいと思います。

小林智委員さんがわざわざ秋に行うための理由が分からないということを仰っていたように、その秋にわざわざ行う理由ができたところで、検討するという形で現在のところは良いと思います。

教育長

私の方でも、校長先生と話しながら考えていきたいと思っています。この問題を決めていくなかで大切なことは3つありまして、1番は子どもにとってそれが良いかという事です。運動会を秋に行うのがいいのか、春に行うほうがいいのか、そこからもう1度考え、その次に今まで、春に行ってきた理由を考えなければいけません。春に行うことがその地域の良さであるということもあると思いますし、様々な事情があったと思います。その上で校長先生を中心として、話し合わなければならないと思います。私は、小中一貫教育や茅野市の教育が今こうなっているから、等の理由もあると思いますが、それは一旦置いて、「子ども達にとってどちらが一番いいのか」という事を考えなければいけないと思います。例えば、学校名は出せませんが、秋に運動会を行っていた学校が春に移した学校がありました。秋に運動会の場合は、夏休みが終わり、そこから猛烈な運動会の練習を行うという流れになりますが、そうなるその時期に不登校が

教育長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、11月25日金曜日午後1時30分から、事前を午後1時00分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で10月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 28 年 11 月 25 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長